

11月の持経寺だより

平成30年度

**支部総登山
(第3回)
11月24日(土)**

**平成30年の年間方針
『行動の年』
平成30年の年間実践テーマ
(1) 勤行・唱題で折伏達成
(2) みんなで声かけ御講参詣
(3) 支部総登山で育成推進**

御会式
御正当会 11月18日 午後2時
御速夜 11月17日 午後7時

日	月	火	水	木	金	土
				1 一日詣り・永代経 (午前10時)	2 宅御講 (午後7時)	3
			支部唱題会 →		午前9時・午後7時	午前9時
4 広布唱題会 (午前9時)	5	6	7	8	9 宅御講 (午後7時)	10
役員会議 (引き続き)	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	午前9時
11 御報恩御講 (午後1時)	12	13 御報恩題目講 (午後7時)	14 広布推進会 (持経寺/午後7時) 四者対象	15 目師会/七五三祝 (午後1時)	16	17 寺院清掃 (午前10時)
少年部会 (午前10時半) 青年部会 (御講終了後)	午前9時・午後7時	午前9時	午前9時	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	御会式御速夜 (午後7時)
18 御会式御正当会 (午後2時)	19	20	21	22	23 少年部勤行会 宣法寺/午後1時	24 第3回 支部総登山
	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	午前9時	
25 ひねもす唱題会 (午前8時～午後6時)	26	27	28	29	30 宅御講 (午後7時)	
	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	午前9時・午後7時	

特別御供養に参加しましょう

来る平成33年は日蓮大聖人の御聖誕から800年の佳節に当たり、本年12月に勸募いたします。自らの尊い使命を自覚され、家族そろって特別御供養に参加いたしましょう。

11月25日(日)のひねもす唱題会割り当て

- 8:00-9:00 中原ブロック(馬田G/青木B)
- 9:00-10:00 青葉/都筑/(財津G/鈴木B/佐藤B)
- 10:00-11:00 宮前/高津ブロック(旧須藤G/八重尾講頭/秋元B)
- 11:00-12:00 鶴見/神奈川ブロック(旧網中G)
- 12:00-13:00 麻生/大和ブロック(旧中野G/小島B)
- 13:00-14:00 多摩ブロック(戸塚G/畠山B)
- 14:00-15:00 港北ブロック/相模原/保土ヶ谷ブロック(大倉G/上野G/吉野B/長田B)
- 15:00-16:00 川崎/幸ブロック(池本G/甘草G/榊山B)

御法主日如上人猊下御指南

ひたすら礼拝行を続けた不軽菩薩は、その功德によって、命終わらんとする時に至って、威音王仏の説かれた法華経を虚空のうちに聞いて、ことごとく受持して六根清浄を得、六根清浄を得終わって、さらに寿命を延ばすこと二百万億那由他歳、その間、広く人々のために法華経を説いたのであります。

その結果、かつて不軽菩薩を軽蔑し、悪口罵詈し、杖木瓦石をもって迫害した増上慢の四衆、すなわち不軽菩薩を軽しめ「常不軽」と名づけた者達も、不軽菩薩が大神通力、樂説弁力、大善寂力を得たるを見るに及び、また、その説くところを聞いて皆、信伏随従するに至ったのであります。

大神通力とは、身に神通力を示現することであり、樂説弁力とは、自在無礙に弁舌する力であり、大善寂力とは、心に禅定、すなわち心を静めて真理を觀察し、心身共に動揺することがなくなり安定した状態を得ることでもあります。

不軽菩薩を迫害した増上慢の者達も、さすがに不軽菩薩の大神通力、樂説弁力、大善寂力を見て、ついに信伏随従するに至らざるをえなかったのであります。

思うに、折伏には説得力が必要であります。私達も不軽菩薩と同様に、大神通力、樂説弁力、大善寂力を得ることができれば、おのずと我らの身口意の三業にわたる所行のすべてが折伏に役立つ、強烈な説得力を持つことになるのであります。相手の信頼に足る言葉、行い、意がなければ、折伏は成就いたしません。

(平成三十年九月度広布唱題会の砌)

☆平成30年支部総登山の御案内☆

第3回 11月24日(土)

支部総登山は御住職様の引率のもと支部講員が揃って登山致します。本年最後の登山となります、必ず家族みんなでお登山いたしましょう。



御会式



◆御会式御逮夜 11月17日(土) 午後7時

◆御会式御正当会 11月18日(日) 午後2時

日蓮大聖人は、弘安五年(1282年)10月13日に武州(ぶしゅう：東京)池上の右衛門大夫(うえもんたいふ)宗仲の館で大勢の弟子や信徒が読経唱題申し上げの中で安祥(あんじょう)として御入滅されましたが、その御本仏(ごほんぶつ)の生命(いのち)はそのまま大御本尊として、常に私たちに功德をほどこされているのです。

したがって日蓮大聖人の御入滅は、この娑婆世界から遠く去ってしまうことではなく、この娑婆世界に厳然とましまして、未来永劫に私たちを救済し、守護するところの久遠の御本仏に生まれかわることなのです。

これを非滅現滅(ひめつげんめつ)とも非滅の滅ともいいます。御会式は、この久遠の仏の生命(いのち)をおよこび申し上げ、報恩感謝申し上げる法要です。

特別御供養に参加しましょう

特別御供養は、本年、12月に勧募いたします。

大聖人様は『新池御書』に、「たびたびの御供養は、御本尊と仏への御報恩の行為となります。いよいよ励んでおこたってはなりません」(御書1457頁)と仰せられ、仏の廣大無辺の恩徳を報じていくためにも御供養に励んでいくようご教示されています。

法華講の皆さまにおかれましては、自らの尊い使命を自覚され、家族そろって特別御供養に参加し、総本山大石寺を万代にわたってお護り申しあげ、現当二世にわたる福德を積んでまいりましょう。

受付は

12月1日(土)～11日(火)